

3月9日
開催

GIS Day inはこだて2017 はこだて観光情報シンポジウム



詳細は <http://dghok.com/event/2115.html>

～観光情報・オープンデータの活用による地域活性化戦略～

観光情報の活用による地域活性化戦略を考えるシンポジウムを開催します。



基調講演：「観光情報とインバウンド」

公立はこだて未来大学システム情報科学部教授 鈴木 恵二氏

1993年北海道大学大学院工学研究科精密工学専攻博士課程後期修了。1995年同工学部システム情報工学専攻複雑系工学講座助教授。2004年公立はこだて未来大学教授。2008年北海道大学大学院情報科学研究科教授。2015年より現職。専門分野は知能情報学、複雑系、自律システム、観光情報など。人工知能学会、精密工学会、日本ロボット学会、観光情報学会等に所属。

講演2：「新幹線効果と地元ローカル鉄道の取組み」

道南いさりび鉄道株式会社 経営企画部企画営業課主任 春井 満広氏

1993年株式会社日本旅行に入社。2016年2月より現職。鉄道会社の営業マンとして地域と関わり、観光列車「ながまれ海峡号」では列車内で接客サービスや沿線案内を担当する。地域団体「北海道鉄道観光資源研究会」に所属。



講演3：「ESRI ジャパンにおける観光 GIS の取組み」

ESRI ジャパン株式会社 森田 玲良氏

ArcGISを活用した観光GISに関する国内の事例をご紹介します。

講演4：「函館市におけるオープンデータの取組み」

函館市総務部情報システム課主査 峯山 英幸氏

函館市では、平成27年3月に「オープンデータ推進方針」を策定し、行政情報のオープンデータ化に取り組んできた。現在、公式ホームページ記事のほとんどをオープンライセンスとしたほか、約1,400のCSVデータを公開している。平成26年から現職。オープンデータの推進業務を担当。



事例紹介：Code for HAKODATE の取組み

開催日時 2017年3月9日(木) 13:20～16:20 開催場所 サン・リフレ函館 大会議室

主催：特定非営利活動法人 Digital 北海道研究会

共催：北海道大学大学院水産科学研究院、北海道産学官研究フォーラム、北海道GIS・GPS研究会、産学官CIMGIS研究会

後援依頼：函館測量設計業協会、函館商工会議所、函館観光協会、(一社)地理情報システム学会北海道支部、

(一社)日本写真測量学会北海道支部、ESRI ジャパン株式会社

参加費：一般2,000円、学生無料

懇親会：4,000円 17:30～19:30 ホテルリソル函館 10F レストラン いちばん

詳細は下記URLをご覧ください
<http://dghok.com/event/2115.html>



Digital HOKKAIDO